

- 問1 大分市の気候は、冬の降水量が少なく穏やかであるという特徴があります。このような傾向を持つ気候区分と、その理由について述べた文として正しいものはどれですか。 (2019年 埼玉県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------------|---------------------------------------|----------------------------------|---|
| 1. 日本海側の気候に属し、対馬海流によって冬の気温が下がりにくいため。 | 2. 瀬戸内の気候に属し、中国山地と四国山地によって季節風が遮られるため。 | 3. 南西諸島の気候に属し、一年中高気圧に覆われる日が多いため。 | 4. 太平洋側の気候に属し、黒潮の影響で冬でも湿った空気が流れ込みにくいため。 |
|--------------------------------------|---------------------------------------|----------------------------------|---|
- 問2 九州地方中部、熊本県の阿蘇山周辺で見られる地形について、その形成の過程と土地利用の説明として最も適切なものはどれかを選んでください。 (2018年 高知県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 河川が運んできた土砂が河口付近に堆積してきた低地であり、水田稲作が盛んに行われている。 | 2. 氷河による浸食によって形成された複雑な入り江であり、水深が深いため天然の良港として利用されている。 | 3. 火山活動による陥没で形成された大きなぼ地であり、その内部には集落や農地、鉄道などが広がっている。 | 4. 火山灰が長期間にわたって堆積してきた広大な台地であり、水持ちが悪いため主に畑作が行われている。 |
|--|--|---|--|
- 問3 三陸海岸南部のように、山地が沈水して複雑な海岸線を持つ地形について、その成り立ちと利用に関する説明として最も適切なものはどれか。 (2024年 秋田県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 山地が沈水して水深の深い入り江が形成されるため、波が静かで養殖業や良港に適している。 | 2. 河口付近に土砂が堆積してきた平坦な地形で、水はけが悪いため主に水田として利用される。 | 3. 海沿いの浅瀬を堤防で仕切り、排水して陸地にしたもので、大規模な農地として利用される。 | 4. 海岸沿いに砂が堆積して形成された単調な地形で、大規模な港湾の整備には適していない。 |
|---|---|---|--|
- 問4 二酸化炭素などの温室効果ガスの濃度が高まることで、地球全体の平均気温が上昇する現象を何といいますか。佐賀県などの各自治体で進められている電気自動車（EV）の普及促進は、この現象への対策の一環として行われています。 (2015年 佐賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|------------|---------|--------|
| 1. 地球温暖化 | 2. オゾン層の破壊 | 3. 森林破壊 | 4. 酸性雨 |
|----------|------------|---------|--------|
- 問5 河川が山間部から平地や盆地に出る際、勾配が急に緩やかになることで、流れてきた土砂が堆積して形成される扇形の地形を何といいますか。 (2023年 香川県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|--------|---------|--------|
| 1. 台地 | 2. 三角州 | 3. 河岸段丘 | 4. 扇状地 |
|-------|--------|---------|--------|
- 問6 河川沿いに不連続で重なり合った堤防が描かれている古い地図や、氾濫時に堤防の切れ目から水が逆流し、その後再び川へ戻る様子を示した資料から読み取れる、霞堤が持つ防災上の利点として適切な説明はどれですか。 (2021年 広島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 堤防の重なり部分に樹木を植えることで、氾濫時に流れてくる大量の土砂を完全にせき止めることができる。 | 2. 堤防を途切れさせることで水の勢いを分散させ、堤防自体の決壊という壊滅的な被害を回避しやすくする。 | 3. 堤防に隙間を作ることで、平常時から川の水を周囲の田畑に供給し、灌漑用の水路を整備する必要をなくす。 | 4. 堤防を不連続にすることで、洪水時でも船が自由に切れ目を通行でき、物資の輸送を止めずに済む。 |
|--|---|--|--|
- 問7 日本海側の気候がみられる地域において、年間の降水量や日照時間の推移を説明した文として、適切なものはどれですか。 (2024年 富山県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 梅雨や台風の影響を強く受ける夏から秋にかけて降水量が集中し、冬は乾燥して晴天の日が続く。 | 2. 冬は北西の季節風の影響で降雪量が多くなり降水量が増えるが、夏は晴天の日が多く日照時間が長くなる。 | 3. 一年を通じて降水量が少なく、特に夏は瀬戸内海沿岸のように極端に日照時間が長くなる。 | 4. 冬に北東から吹く「やませ」の影響で冷害が起こりやすく、夏になっても日照時間が全く増えない。 |
|---|---|--|--|
- 問8 日本で最も広い流域面積を持つ河川である利根川は、かつては東京湾に注いでいましたが、江戸時代の大規模な工事によって現在の形に整えられました。この利根川の河口が位置している、2つの県の境界として正しい組み合わせを選びなさい。 (2018年 京都府公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------|-------------|------------|------------|
| 1. 東京都と神奈川県 | 2. 神奈川県と静岡県 | 3. 千葉県と茨城県 | 4. 東京都と千葉県 |
|-------------|-------------|------------|------------|
- 問9 近年、都市部では集中豪雨の際に下水管内の空気が圧縮され、マンホールから水が噴き出す「都市型洪水」が課題となっています。この対策として、京都市などで導入されている「雨庭（あめにわ）」の仕組みとして最も適切な説明はどれですか。 (2024年 鳥取県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 降った雨水を一時的に貯留し、ゆっくりと地下へ浸透させることで下水道への負荷を軽減する。 | 2. 住宅地の景観を整えるための装飾として、雨水を好む植物を植えることで都市の気温上昇を抑える。 | 3. 雨水をすべて地下の巨大なタンクに密閉し、災害時の生活用水として利用するために貯蔵する。 | 4. 下水管の中にフィルターを設置し、雨水に含まれるゴミを取り除いてから川へ流す速度を速める。 |
|--|--|--|---|
- 問10 地形図において土地の起伏を読み取る際、等高線の描かれ方とその地形の特徴について正しく説明しているものはどれか。 (2018年 鹿児島県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------|--------------------------------|----------------------------------|--------------------------------|
| 1. 等高線の間隔が広い場所は、崖などの切り立った地形である。 | 2. 等高線の間隔が狭い場所は、傾斜が急な斜面になっている。 | 3. 等高線の間隔が狭い場所は、周囲よりも標高が低い窪地である。 | 4. 等高線の間隔が広い場所は、傾斜が急な斜面になっている。 |
|---------------------------------|--------------------------------|----------------------------------|--------------------------------|
- 問11 日本の地形において「カルデラ」と説明される地形が形成される仕組みとして、最も適切なものはどれですか。 (2021年 新潟県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 火山の爆発や噴火によって、山体の一部が陥没したり崩壊したりして形成された。 | 2. 河川が山地から平地に出る谷口において、土砂が扇形に堆積して形成された。 | 3. 河川が運んできた土砂が河口付近に堆積し、低くて平らな土地が形成された。 | 4. 火山灰が長年にわたって厚く降り積もり、水はけの良い台地として形成された。 |
|--|--|--|---|
- 問12 沖縄県的那覇市や宮崎県の宮崎市など、日本の南部や太平洋側に位置する都市の気象統計を確認すると、8月に比べて9月の降水量が急増する傾向が見られます。このような降水量の変化をもたらす主な要因として最も適切なものはどれですか。 (2023年 岡山県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------------------------|-----------------------------------|--|---------------------------------------|
| 1. オホーツク海高気圧から吹き出す冷たく湿った北東の風が影響するため | 2. シベリア高気圧の発達により、湿った北西の季節風が吹き込むため | 3. 小笠原高気圧とオホーツク海高気圧の間に停滞する梅雨前線が活発になるため | 4. 熱帯低気圧が発達した台風が、日本付近を接近・通過することが増えるため |
|-------------------------------------|-----------------------------------|--|---------------------------------------|
- 問13 日本の太平洋側の気候について、夏季にあたる6月から9月にかけて降水量のピークが見られる主な要因として、最も適切な組み合わせを選びなさい。 (2024年 福井県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------|--------------------|-----------------|------------------|
| 1. シベリア高気圧と梅雨前線の停滞 | 2. 対馬海流による湿った空気の流入 | 3. 南東の季節風と台風の影響 | 4. 北西の季節風と低気圧の影響 |
|--------------------|--------------------|-----------------|------------------|